



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社

コード番号 7433 URL http://www.hakuto.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 近藤 和浩 TEL 03-3225-3412

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 59,959 | △5.7 | 1,872 | △10.9 | 1,907 | △14.7 | 1,376 | △24.0 |
| 27年3月期第2四半期 | 63,613 | 0.7 | 2,101 | 19.1 | 2,234 | 18.6 | 1,811 | 51.1 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,638百万円 (△15.0%) 27年3月期第2四半期 1,927百万円 (△7.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 62.79 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 82.82 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 80,104 | 51,904 | 64.8 | 2,366.86 |
| 27年3月期 | 82,785 | 50,799 | 61.4 | 2,318.50 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 51,904百万円 27年3月期 50,799百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 15.00 | — | 25.00 | 40.00 |
| 28年3月期 | — | 20.00 | — | — | — |
| 28年3月期 (予想) | — | — | — | 20.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 136,000 | 3.8 | 4,400 | 2.1 | 4,400 | △3.4 | 2,900 | △14.6 | 132.51 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期2Q | 24,137,213株 | 27年3月期 | 24,137,213株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 2,207,529株 | 27年3月期 | 2,226,930株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期2Q | 21,921,715株 | 27年3月期2Q | 21,871,475株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、主要経済圏ではおしなべて好況感が見られず、中東の政情やアジア地域でのテロ行為などの不安要素も引き続き存在しており、経済の活性化へのきっかけや、牽引役が見いだせない状況となりました。

米国では、諸国が低金利政策による景気の下支えを図る中で、利上げへの慎重さを求める声が高まりつつあり、金融政策は今後の経済指標等を確認しながらの徐行が続くと見込まれております。

欧州では、直近で最も経済状態が良好であるドイツの自動車産業における不正が発覚し、一国、欧州に留まらず、世界全体への影響が懸念されております。

アジアでは中国において経済成長率の鈍化が鮮明になり、突然の人民元切り下げに端を発した株式市場の混乱等、我が国も含めて、アジア経済へのマイナス影響の拡大が不安視されております。

我が国においては、輸出産業を後押しした円安もやや戻した状況で方向感無く推移しており、株式市場の回復に勢いが見られない状態にあります。TPPの締結が今後の経済にもたらす効果が期待されるものの、総じて景気の見通しに楽観的な材料に乏しい状況となっております。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、好調な米国経済の恩恵を受ける自動車産業向け車載関連製品の需要が堅調に推移したものの、中国の景気減速の影響により、エレベーター、エアコンなどの住宅関連製品向け、及びスマートフォン向けの電子部品、関連部材、製造用設備の需要は減少するなど、アジアの新興国向けエレクトロニクス製品の生産、輸出が伸び悩みました。また、国内市場においては、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度の見直しの影響により、太陽電池用セル・モジュールの出荷量が減少し、半導体市況の悪化により半導体製造装置市場も冷え込むなど、自動車関連を除くとやや低調に推移いたしました。

工業薬品分野においては、主な需要先の石油・石油化学業界では原油価格の下落と石油化学製品のアジア向け輸出の減速により、また、紙・パルプ業界でも国内市場の需要減少により、全体的に停滞感が強まりました。

このような環境下において、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は599億59百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

損益面につきましては、連結売上総利益は91億33百万円（同4.3%減）、連結販売費及び一般管理費は72億61百万円（同2.4%減）となり、連結営業利益は18億72百万円（同10.9%減）、連結経常利益は19億7百万円（同14.7%減）、連結四半期純利益は13億76百万円（同24.0%減）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、自動車関連については電子部品の搭載数が年々増加傾向にあることに加えて、米国の自動車販売が好調であることから、車載関連製品は堅調を維持する一方で、電力の買い取り価格の下落の影響によりソーラーパネル等の太陽光発電関連製品が伸び悩み、中国の景気減速によりパソコンや白物家電市場向けコネクタも低調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は468億94百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は11億45百万円（同14.8%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、計測、分析市場向け真空機器は堅調に推移いたしましたが、LED向けの化合物半導体製造装置並びに次世代半導体パッケージ向け露光装置、ラミネーター等は顧客の設備投資計画の先送りにより計画を下回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は81億81百万円（前年同期比26.2%減）となり、セグメント利益は3億46百万円（同20.6%減）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、紙・パルプ向け洗浄剤等が競争の激化により苦戦を強いられましたが、石油・石油化学向け重合禁止剤、冷却水処理剤等とアルカシーランを主原料とする化粧品の販売は堅調に推移いたしました。なお、前連結会計年度に工業薬品事業の子会社を売却いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は48億77百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は2億82百万円（同10.7%減）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億55百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益は14百万円（同34.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が26億81百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が10億43百万円増加しましたが、現金及び預金が30億26百万円、受取手形及び売掛金が8億67百万円減少したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して11億5百万円増加し、519億4百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が2億69百万円減少しましたが、利益剰余金が8億24百万円、その他有価証券評価差額金が5億68百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは11億97百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは43百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは37億85百万円の支出となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して27億16百万円減少し、当第2四半期末は94億11百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の減少5億99百万円、法人税等の支払額5億61百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益20億2百万円、売上債権の減少6億54百万円等の収入により、営業活動によるキャッシュ・フローは11億97百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には税金等調整前四半期純利益等により23億9百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の取得による支出2億55百万円等の支出がありましたが、定期預金の払戻による収入3億9百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは43百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には定期預金の預入による支出等により、1億66百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入による収入116億66百万円等の収入がありましたが、短期借入金の返済による支出137億15百万円、長期借入金の返済による支出11億83百万円、配当金の支払額5億47百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは37億85百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には、長・短期借入金における(純)返済額による支出15億55百万円等により、20億8百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績は、ほぼ想定通りに推移しておりますので、平成27年4月30日に公表した通期の業績予想は変更しておりません。

今後、業績予想に変更が生じた場合には、適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準第44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,437 | 9,411 |
| 受取手形及び売掛金 | 32,874 | 32,006 |
| 商品及び製品 | 18,096 | 18,492 |
| 仕掛品 | 44 | 45 |
| 原材料及び貯蔵品 | 559 | 503 |
| 繰延税金資産 | 784 | 709 |
| その他 | 1,378 | 1,586 |
| 貸倒引当金 | △128 | △50 |
| 流動資産合計 | 66,046 | 62,704 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,111 | 1,072 |
| 機械及び装置（純額） | 2,600 | 2,434 |
| 土地 | 3,080 | 3,080 |
| その他（純額） | 501 | 462 |
| 有形固定資産合計 | 7,293 | 7,049 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産 | 1,332 | 1,234 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,324 | 8,367 |
| 退職給付に係る資産 | 383 | 332 |
| 繰延税金資産 | 40 | 26 |
| その他 | 436 | 448 |
| 貸倒引当金 | △71 | △59 |
| 投資その他の資産合計 | 8,112 | 9,115 |
| 固定資産合計 | 16,739 | 17,399 |
| 資産合計 | 82,785 | 80,104 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,649 | 12,796 |
| 電子記録債務 | 2,141 | 3,241 |
| 短期借入金 | 5,288 | 2,773 |
| リース債務 | 61 | 50 |
| 未払法人税等 | 531 | 493 |
| 賞与引当金 | 936 | 859 |
| 役員賞与引当金 | 66 | 13 |
| 製品保証引当金 | 12 | 13 |
| その他 | 2,019 | 2,121 |
| 流動負債合計 | 25,706 | 22,363 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,810 | 3,102 |
| リース債務 | 54 | 54 |
| 繰延税金負債 | 1,998 | 2,258 |
| 役員退職慰労引当金 | 19 | 20 |
| 退職給付に係る負債 | 364 | 366 |
| その他 | 33 | 33 |
| 固定負債合計 | 6,280 | 5,835 |
| 負債合計 | 31,986 | 28,199 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,100 | 8,100 |
| 資本剰余金 | 7,289 | 7,289 |
| 利益剰余金 | 34,714 | 35,539 |
| 自己株式 | △3,932 | △3,913 |
| 株主資本合計 | 46,172 | 47,015 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,206 | 3,774 |
| 繰延ヘッジ損益 | △7 | △26 |
| 為替換算調整勘定 | 1,663 | 1,393 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △235 | △253 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,626 | 4,888 |
| 純資産合計 | 50,799 | 51,904 |
| 負債純資産合計 | 82,785 | 80,104 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 63,613 | 59,959 |
| 売上原価 | 54,069 | 50,826 |
| 売上総利益 | 9,543 | 9,133 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 2,376 | 2,347 |
| 賞与引当金繰入額 | 764 | 779 |
| 退職給付費用 | 235 | 258 |
| その他 | 4,066 | 3,875 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 7,442 | 7,261 |
| 営業利益 | 2,101 | 1,872 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 6 |
| 受取配当金 | 143 | 193 |
| 為替差益 | 31 | — |
| 持分法による投資利益 | 22 | 2 |
| その他 | 38 | 84 |
| 営業外収益合計 | 245 | 286 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 47 | 32 |
| 為替差損 | — | 131 |
| 租税公課 | 47 | — |
| クレーム処理費 | 1 | 63 |
| その他 | 16 | 24 |
| 営業外費用合計 | 112 | 252 |
| 経常利益 | 2,234 | 1,907 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 1 |
| 投資有価証券売却益 | — | 90 |
| 子会社株式売却益 | 240 | — |
| 特別配当金 | 107 | — |
| その他 | 13 | 4 |
| 特別利益合計 | 361 | 96 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 6 | 0 |
| 減損損失 | 27 | — |
| その他 | 2 | 0 |
| 特別損失合計 | 36 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,559 | 2,002 |
| 法人税等 | 748 | 625 |
| 四半期純利益 | 1,811 | 1,376 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,811 | 1,376 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,811 | 1,376 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △425 | 568 |
| 繰延ヘッジ損益 | △39 | △19 |
| 為替換算調整勘定 | 562 | △269 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 0 | 0 |
| 退職給付に係る調整額 | 17 | △17 |
| その他の包括利益合計 | 115 | 262 |
| 四半期包括利益 | 1,927 | 1,638 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,927 | 1,638 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,559 | 2,002 |
| 減価償却費 | 380 | 518 |
| 減損損失 | 27 | — |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △33 | △73 |
| 受取利息及び受取配当金 | △151 | △199 |
| 支払利息 | 47 | 32 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △22 | △2 |
| 子会社株式売却損益 (△は益) | △240 | — |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 6 | △1 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △90 |
| 特別配当金 | △107 | — |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 33 | △33 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 3,024 | 654 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,622 | △448 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,187 | △599 |
| その他 | 295 | △134 |
| 小計 | 3,008 | 1,624 |
| 利息及び配当金の受取額 | 269 | 167 |
| 利息の支払額 | △45 | △32 |
| 法人税等の支払額 | △922 | △561 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,309 | 1,197 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △357 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | 475 | 309 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △337 | △89 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1 | 1 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △111 | △85 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △5 | △255 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 156 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入 | 170 | — |
| その他 | △2 | 7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △166 | 43 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 15,409 | 11,666 |
| 短期借入金の返済による支出 | △16,318 | △13,715 |
| リース債務の返済による支出 | △37 | △33 |
| 長期借入れによる収入 | 700 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,345 | △1,183 |
| 自己株式の増減額 (△は増加) | 26 | 28 |
| 配当金の支払額 | △441 | △547 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,008 | △3,785 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 297 | △171 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 432 | △2,716 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 11,133 | 12,127 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,565 | 9,411 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|---------|---------|---------------|--------|--------|--------|
| | 電子部品事業 | 電子・電気 機器事業 | 工業薬品事業 | その他の事業 | |
| 売上高 | 47,629 | 11,080 | 4,894 | 364 | 63,968 |
| セグメント利益 | 1,344 | 436 | 316 | 21 | 2,119 |

当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 合計 |
|---------|---------|---------------|--------|--------|--------|
| | 電子部品事業 | 電子・電気 機器事業 | 工業薬品事業 | その他の事業 | |
| 売上高 | 46,894 | 8,181 | 4,877 | 355 | 60,309 |
| セグメント利益 | 1,145 | 346 | 282 | 14 | 1,788 |

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 売上高 | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 |
|---------------|------------------|------------------|
| 報告セグメント計 | 63,968 | 60,309 |
| セグメント間取引消去 | △355 | △349 |
| 四半期連結財務諸表の売上高 | 63,613 | 59,959 |

(単位：百万円)

| 利益 | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 |
|----------------|------------------|------------------|
| 報告セグメント計 | 2,119 | 1,788 |
| のれんの償却額 | △1 | △1 |
| その他の調整額 | △16 | 85 |
| 四半期連結財務諸表の営業利益 | 2,101 | 1,872 |